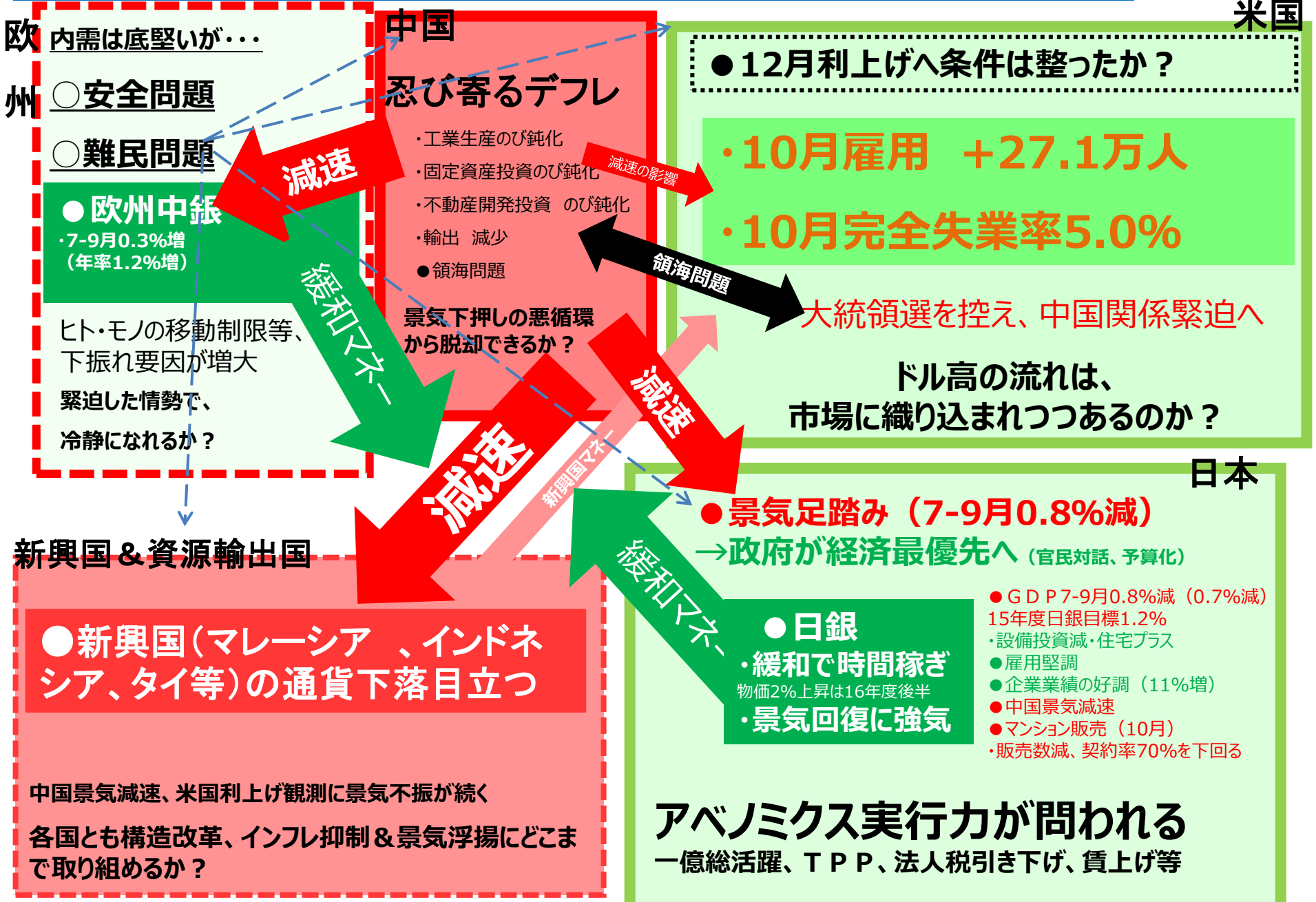


●1分で見える世界景気／2015年11月後半から見た11～12月の動向

※各国の冷静対応に期待しつつ、日本は官民一致での企業活動&家計の後押しでマネーを取り込めるか？



欧州

内需は底堅いが...

- 安全問題
- 難民問題

●欧州中銀

- ・7-9月0.3%増 (年率1.2%増)

ヒト・モノの移動制限等、下振れ要因が増大

緊迫した情勢で、冷静になれるか？

中国

忍び寄るデフレ

- ・工業生産のび鈍化
- ・固定資産投資のび鈍化
- ・不動産開発投資のび鈍化
- ・輸出 減少
- 領海問題

景気下押しの悪循環から脱却できるか？

米国

●12月利上げへ条件は整ったか？

・10月雇用 +27.1万人

・10月完全失業率5.0%

大統領選を控え、中国関係緊迫へ

ドル高の流れは、市場に織り込まれつつあるのか？

新興国&資源輸出国

●新興国(マレーシア、インドネシア、タイ等)の通貨下落目立つ

中国景気減速、米国利上げ観測に景気不振が続く

各国とも構造改革、インフレ抑制&景気浮揚にどこまで取り組めるか？

日本

●景気足踏み(7-9月0.8%減)

→政府が経済最優先へ(官民対話、予算化)

●日銀

- ・緩和で時間稼ぎ
- 物価2%上昇は16年度後半
- ・景気回復に強気

- GDP7-9月0.8%減(0.7%減)
- 15年度日銀目標1.2%
- ・設備投資減・住宅プラス
- 雇用堅調
- 企業業績の好調(11%増)
- 中国景気減速
- マンション販売(10月)
- ・販売数減、契約率70%を下回る

アベノミクス実行力が問われる

一億総活躍、TPP、法人税引き下げ、賃上げ等